

イ 指導内容系統表の具体例

英語 領域名「読むこと」

	小学校	中学校	高等学校
指導内容	現行学習指導要領総則 第3-5(3) 「国際理解に関する学習の一環として外国語会話等を行うときは、学校の実態等に応じ、児童が外国語に触れたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりするなど小学校段階にふさわしい体験的な学習が行われるようにすること」	○「読むこと」 主として次の事項について指導する。 ・ 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 ・ 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読したりすること。 ・ 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。 ・ 伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること。	○英語 I ・ 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 ・ 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 ・ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 ・ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。
育てたい能力	関心・意欲・態度 (新学習指導要領から) 1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。 (1) 外国語を用いて、コミュニケーションの楽しさを体験すること。 (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。 (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。	(言語活動への取組) ・ うなずいたりメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。 ・ 読んだことについて感想や意見を述べようとしている。 ・ 必要に応じて辞書などを活用している。 (コミュニケーションの継続) ・ 理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	(言語活動への取組) ・ 必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。 ・ 読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 ・ 必要に応じて辞書などを活用している。 (コミュニケーションの継続) ・ 理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。
	表現の能力 2 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。 (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉のおもしろさや、豊かさに気付くこと。	(正確な音読) ・ 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読できる。 (適切な音読) ・ 場面や心情に応じた音読ができる。 ・ 適切な音量で読むことができる。	(正確な音読) ・ 正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。 (適切な音読) ・ 文章の意味や作者の意向などを考えて適切に音読したり暗唱したりすることができる。
	理解の能力 (2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。 (3) 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めること。	(正確な読み取り) ・ 書かれた内容について正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) ・ 書かれた情報について大切な部分を読み取ることができる。 ・ 伝言や手紙などに対して、適切に応じることができる。 ・ 文や文章の目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	(正確な読み取り) ・ 書かれた内容について正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) ・ 読んだ内容について概要や要点を把握することができる。 ・ 文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。
	言語や文化についての知識・理解	(言語についての知識) ・ 単語の発音の違いなど語句や文を正しく発音する知識を身に付けている。 ・ 場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・ 文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・ 場面や状況にふさわしい表現を知っている。 ・ 文構造についての知識がある。 (文化についての理解) ・ 初歩的な外国語の学習を通して、家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣などを理解している。 ・ 初歩的な外国語の学習を通して、人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。	(言語についての知識) ・ 場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・ 文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・ 場面や状況、目的に応じた表現を知っている。 ・ 文章の流れについての知識がある。 ・ 「読むこと」に用いられている語句や文法を知っている。 (文化についての理解) ・ 初歩的な外国語の学習を通して、家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣などを理解している。 ・ 初歩的な外国語の学習を通して、人々のものの見方や考え方などの違いについて理解している。
活用例	※ 外国語でのコミュニケーションを体験させる際には、音声面を中心とし、アルファベットなどの文字や単語の取扱いについては、児童の学習負担に配慮しつつ、音声によるコミュニケーションの補助するものとして用いる。	【言語の使用場面】 人物辞典、伝記のメモ、レポート、詩、物語、シナリオ、電子メール、手紙等 【言語の働き】 意見を言う 説明する 発表する 報告する 描写する 等 【活用場面】 ○ 簡単な英語で書かれた伝記等を読む。 ○ 読み取った内容について、英語でレポートを作成する。 ○ 作成したレポートを英語で発表する。 ○ 簡単な英語で書かれた詩、物語、シナリオ、電子メール、手紙等を読む。	【言語の使用場面】 旅行、買い物、広告、新聞、雑誌、電子メール、手紙 等 【言語の働き】 報告する、説明する、質問する、喜ぶ、驚く、同情する、賛成する 等 【活用場面】 ○ スピーチ、ディスカッション、ディベート 読んだ内容について、身近なことや、日ごろ考えていることと結び付けて、スピーチ、ディスカッション、ディベートをする。 ○ 電子メール、手紙 電子メールや手紙形式にした文章を読み、返事を書く。ペアワークでやりとりをする。 ○ 広告、旅行案内 広告、旅行案内を読み、内容を口頭で伝える。